

# 浦田憲治氏講演会

## 演題 「平成期の文学」

新型コロナウイルスの猛威もひとまず落ち着いたように思われます。緊急事態宣言も解除となり、県をまたいでの移動自粛も解除となりますので、游文舎と北方文学会では元日本経済新聞文化部編集委員・浦田憲治氏の講演会を執行します。浦田氏は平成期30年の文学について唯一無二ともいえるべき総括的評論『未完の平成文学史』の著者であり、現代日本の小説について他に比肩するものがない理解者であります。平成の小説についてお聴きし、今後の文学の課題について語る機会としたいと思います。

日時 2020年6月27日(土)  
16:00~18:00まで

会場 柏崎市 游文舎

参加費 2,000円

主催 游文舎・北方文学会

### 浦田憲治氏プロフィール

1949年浦和市(現さいたま市)生まれ。慶應義塾大学法学部政治学科卒。学生時代は文学研究会で活動した。1972年日本経済新聞社入社。東京編集局整理部、地方部、流通経済部などを経て1984年から30年近く文化部に在籍し、文芸を中心に映画、美術を担当した。黒岩重吾『聖徳太子 日と影の王子』、隆慶一郎『花と火の帝』、辻原登『発熱』の連載小説を手がけた。1989年文化部編集委員。共著に『美の巨人たち』、『日記をのぞく』、『名作のある風景』、『テラスで読む「知」の冒険』などがある。2012年春に退社後、現在はフリー。2015年に早川書房より『未完の平成文学史—文芸記者から見た文壇30年』を刊行。

お問合せ・お申し込みは電話かファックスで

文学と美術のライブラリー

# 游文舎

柏崎市穂波町1-25 ヘルシービル2F  
Tel0257-32-1238 fax0257-21-9261  
<http://youbun.net/>



同時開催・霜田文子展「風の卵」 6月27日(土)~7月5日(日) 10:00~17:00 6月29日休館  
6月27日(土) 15:00~ギャラリートーク (入場無料)